

ご視聴の皆さまへ

- 配信動画および資料の著作権は、横浜市リハビリテーション事業団が保有します。
- 動画および資料の無断転載、複製、転用、販売等の二次利用は、固く禁じます。
- この配信動画は、当センター利用者の保護者の方のみ視聴可能です。
- 第三者に動画および付属資料の URL を拡散することはお控えください。



ごしちょうのみなさまへ

はいしんどうがおよびしりょうのちょさくけんは、よこはましりはびりてーしょんじぎょうだんがほゆうします。

どうがおよびしりょうのむだんてんさい、ふくせい、てんよう、はんばいなどのにじりようは、かたくきんじます。

このはいしんどうがは、とうせんたーりようしゃのほごしゃのかたのみしちょうかのうです。

だいさんしゃにどうがおよびふぞくしりょうの URL をかくさんすることはおひかえください。

どうして
学校の勉強がうまくいかないの・・・？



横浜市リハビリテーション事業団
言語聴覚士



この講座でお話すること

- ☆ 学校の勉強がうまくいかないことの背景にあるもの
- ☆ 「勉強」へのサポート
今回は特に「読み」「書き」について

こんかいのこうざのなかでおはなしすることは
がっこうのべんきょうがうまくいかないことはいけいになにがあるのかを
かんがえたいとおもいます。

そのうえでべんきょうのなかでもとくに「よみかき」にたいしてどういった
さぽーとをしてけるといいかについておはなしします。



学校の勉強がうまくいかない・・・



お子さんの持つ難しさ、つまりきはそれぞれ。
その背景について考えていきましょう。



せいぶせんたーではしょうがくせいのおこさんをもつほごしゃのほうからそ
うだんをおうけすることがおおいのですが、
そのなかでもがっこうのべんきょうにかんするそうだんはすくなくありませ
ん。

「しゅくだいをやらない、ていしゅつしていない」「じゅぎょうちゅうちが
うことをしているといわれた」「がっこうののーとをかいていない」などい
ろいろなそうだんがあがります。

そういったがっこうでのべんきょうのむずかしさについて、ほごしゃのかた
は「わすれてしまうだけなのかな？」 「きいていないだけ」 「しゅ
ちゅうりよくやるきのもんだい」ととらえがちです。

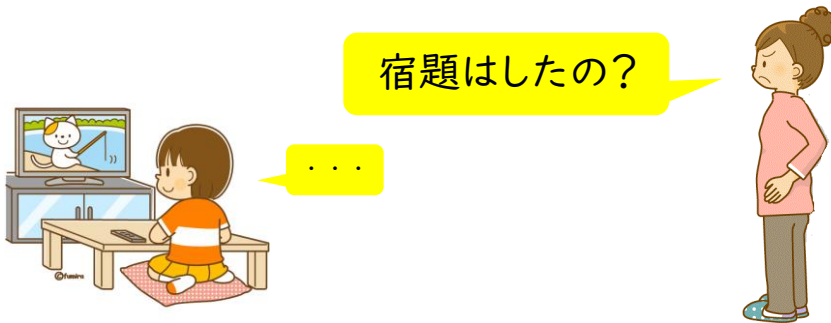
たしかにおこさんのこうどうだけみると、「やりたがらない」というほんに
んのいよくのなさがもんだいで、「やらないからできないのでは」というけ
つろんになりがちです。

でももしかしたらおこさんがなにかむずかしさをかかえているのかもしれま
せん。そしてそのつまりきぽいんとはひとそれぞれです。

きょうは、そういった、がくしゅうをするうえでの、ぐたいてきなつまりき
ぽいんとをかんがえて、どのようなたいおうやくふうをしていけばいいのか、
かんがえていきたいとおもいます。

保護者の方から多くお受けするご相談・・・

「宿題」をしたがらない



「宿題」をめぐって、深刻な親子関係の問題になっているご家庭も少なくない・・・



よくそうだんにあがることにしゅくだいにかんすることがあります。
きたくしたとき、おやつまえ、ゆうしょくまえ、にゆうよくまえ・・・、と
ずっと、こえかけをしてうながしてもとりくまず、さいしゅうてきによるの
ねるまえになって、やっとしかりつけて、いやいややりはじめ、ねるじかん
がおそくなる・・・ということが、まいにちになってしまい、おやごさんも
うんざりしている、ということをおはなしされるかたもあります。
しゅくだいがおやかかんけいのもんだいになってしまっているごかていもある
ようです

保護者の方から多くお受けするご相談・・・

ノートや連絡帳を書いてこない

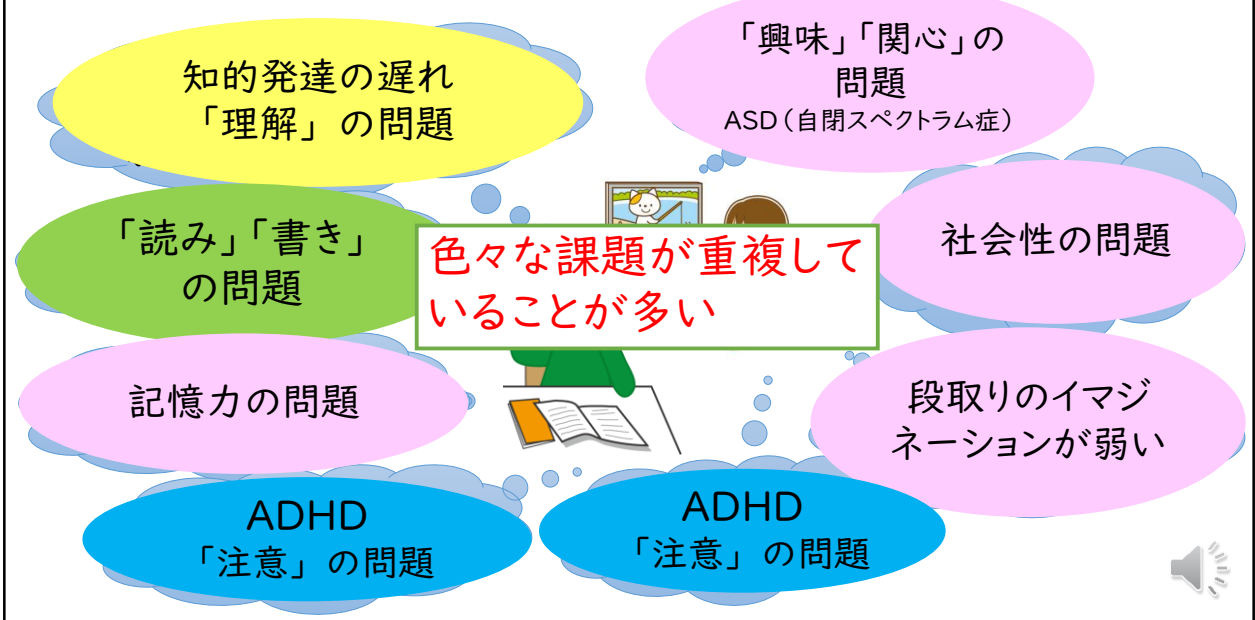


ノートや連絡帳を書かないことで、忘れ物が多くなってしまう
書かないことを注意されることも負担感



がっこうのことでは、のーとやれんらくちょうをかいてこないこともよくそ
うだんにあがります。
れんらくちょうになにもかからないので、もちもの、しゅくだいのこともわか
らなかいので、わすれものでしかられることもふえてしまう。、、
ばんしょをとらないので、のーとがまっしろ、
さくぶんは、かくまでがとてもたいへん。かいてもひらがなだけで、かんじ
をつかわないので、ていしゅつすると、あかぺんでしゅうせいがはいり、そ
のなおしもたいへん。かんじどりをさせることがたいへん、、、とう。
などなど、かくことのながてさについてのごそうだんもさまざまです。

やらない・できない要因は・・・？



おこさんがどうしてしゅくだいをやらないのか、どうしてのーとやれんらく
ちょうをかいてこないのか、
それらについておこさんのしてんからかんがえてみましょう。

まずがっこうのじゅぎょう、しゅくだいのないようがむずかしくてわからな
い、ひとりではできない、じしんがないといったこともあります。

★このばあいもしかしたらちてきはったつのもんだいがかくれているばあい
もあります。

ちてきはったつのじょうたいによっては、にちじょうせいかつのなかでこま
ることはなくても、がっこうのがくしゅうになるとむずかしさがでてくるこ
とがあります。

つぎにかんがえられるのはじゅぎょうやしゅくだいのないようにきょうみが
なかったり、やらなければいけないといったいしきがひくいということもあ
ります。

しゅくだいものーともやるつもりはあり、そのうちやるつもりだったけど、
じかんてきなけいかくがたてられずに、できずにおわってしまうようなこと
もあります。

これらのばあいのはいけいには★「きょうみ・かんしんのもんだい」たとえ
ば「じへいすべくとらむしょう」のとくせいがかんけいしているかもしれま



せん。

★そのとくせいとして「しゃかいせいのもんだい」や「いまじねーしょんのもんだい」がでてくるばあいもあります。

またしゅくだいをやるつもりだったが、そのぷりんとをがっこうにわすれてきたり、こくばんをかきうつしていたけど、どこをかいていたかみうしなってしまう

といったばあいには★★ADHDのような「ちゅういのもんだい」があるかもしれません。

おこさんによってはのーとをかくときに、せんせいのはなしをききながらかくことがむずかしいといったこともあります。

★このときにはきおくりよくがかんけいしているかもしれません。

じゅぎょうやせんせいのはなしはよくわかっているのに、きょうかしょやぷりんとをよむのがにがてだったり、かくのにすごくじかんがかかったりするばあいには

★「よみかき」のもんだいがあることもあります。

しゅくだいをやらない、のーとをかかないことのはいけいにはこういったいろいろなもんだいがかくれているばあいがあり、

その1つだけがげんいんではなく、★ちょうふくしているばあいもすくなくありません。

学校の勉強がうまくいかない・・・

<確認しておけるといいこと>

知的発達は何のくらい？

「興味」「関心」の問題、「注意」の問題はある？

興味・関心のないことには取り組みにくい

注意力・集中力が持続しにくい

段取り・切り替えが苦手

疲れやすい、感覚過敏



こうした特性も、学校で授業を受けたり、学習に向かう上での困難さにつながり、学力に影響が出やすい要因になっています



がっこうでのべんきょうがうまくいかないなど感じたときには、まずおこさんのじょうきょうを1つずつかんがえていきましょう。

まずはちてきはったつの dankai です。しゅうがくまえにとくそうせんたーでけんさをうけたほうもいるでしょう。

せいかつのなかのこと、ゆうじんかんけいにとくにこまったことはなくすごせていても、はったつのおくれがあるばあいがあります。

おこさんのちてきはったつががくねんれべるにたっているのかのかくにんができるといいでしょう。

またきょうみ・かんしん・ちゅういのもんだいもがくしゅうをするうえでおおきなかんけいがあります。

きょうみ・かんしんのないことにはとりくみにくい、ちゅういりよく・しゅうちゅうりよくがじぞくしにくい、だんどり・きりかえがにがて

つかれやすい、かんかくかびんがあるなど…

いっけんがくしゅうにかんけいなさそうなきもしますが、きょうみ・かんしんのある／なしでとりくみしせいにさのあるおこさんは、

がっこうのべんきょうのないようによってとりくみしせいにさがでてくるかもしれません。

しゅうちゅうがつづかないおこさん、きりかえがにがてなおこさん、つかれ

やすいおこさんなども45ふんのじゅぎょうをうけることが、おこさんにとってたいへんなばあいもあります。
こういったとくせいもがっこうでべんきょうをするうえでのこんなさにつながり、がくりよくにえいきょうがでるよういんとなります。

「読み」「書き」の問題・・・もしかして学習障害？

学習障害とは、全般的に知的発達に遅れはないが、
「聞く」「話す」「読む」「書く」「計算する」「推論する」のうち、
一つないし複数の特定の能力について、学習上、様々な困難に
直面している状態（文部科学省）

医学では限局性学習症（Specific Learning Disorder）
読字障害、書字障害、算数障害に分類



さきほどあげたようなようすはないけど、がっこうのべんきょうがうまくい
かないばあいはもじのよみかきについてもかくにんしてみましよう。
がっこうのべんきょうはどうしてもよんだりかいたりすることがひつようにな
ります。
そのよんだりかいたりすることがとくにむずかしいといったばあいもありま
す。

よみかきがとくにむずかしいおこさんのなかに「がくしゅうしょうがい」
「LD」といわれるばあいがあります。
この「がくしゅうしょうがい」ということばは、きょういくてきなかんてん
からみた「よみ」「かき」のこんなんさをあらわしていて、
もんぶかがくしょうでは、ぜんぱんてきにちてきはったつにおくれはないが、
「きく」「はなす」「よむ」「かく」「けいさんする」「すいろんする」の
うち、ひとつないしふくすうのとくていののうりょくについて、がくしゅう
じょう、さまざまなこんなんにちょくめんしているじょうたい、とていぎ
しています。
いがくてきには、もうすこし、せまいとらえで、げんきよくせいがくしゅう
しょうがい、というていぎで、どくじしょうがい、しょじしょうがい、さん
すうしょうがいにぶんるいされます。

ここからは・・・

☆ 「勉強」へのサポート
今回は特に「読み」「書き」について

それではここからはべんきょう、とくに「よみかき」へのさぽーとについて
おはなしします。



「読み」のどこでつまづいている？

①「文字」を見て、それに対応する「音声」を想起する（音声化）

「や」「よ」「ゆ」「つ」を
間違える

漢字が読めない

②単語・文の区切りを認識する

逐字読みで区切り
がない

助詞の「は」の読み方
を間違える

③認識した単語や文から、意味を把握する（読解）

ことばで書かれている
ことをイメージしにくい

登場人物の心情が
わからない



まずはよみについてかんがえてみましょう。

「よみ」のにながてなおこさんは、どこでつまづいているのでしょうか？

①「もじ」をみて、それにたいおうする「おんせい」をそうきする ことはできますか？

むずかしいいいかたをしました、これは1もじずつをただしくよめていますか
ということです。

ここでよくあるのはちいさい「やゆよ」や「つ」をまちがいやすかったり、ひらが
な・かたかなはよめてもかんじがよめなかったりすることもあります

つぎに2たんごやもじのくぎりをにんしきできていますか？

もじをよむことはできてもたんごやぶんしょうになると1もじずつよんでしまうち
くじよみになってしまい、ちょうどいいくぎりがわからなかったり、じょしの

「は・へ」などをそのまま「は・へ」とよんでしまったりすることもあります。

これだともよむことはできても、よんでいるおこさんじしんもなにをよんでいるかわ
かっていないかのうせいがあります。

たんごやぶんのくぎりがわからないばあい、そのいみりかいにつながらないことが
できます。

さいごに3にんしきしたたんごやぶんからいみをはあくしていますか？

おんどくできて、そのないようをちゃんとわかっていますか？

たんごやぶんしょうとしてきちんとよめていても「かきことば」ははなしことばと
はちがうため、いみがわからなかったり、とうじょうじんぶつのしんじょうがりが
いできなかったりするばあいもあります。

よみのどこでつまづいているのかかくにんできるといいでしょう。

「読み」ながら「理解」することは難しい・・・

大切なのは理解や知識を保障すること！

文字→読む→知識を得る

勉強に取り組めるエネルギー



大人が代読

イラスト付き
で説明

動画で見る

お子さんなりの
手段でOK

「読み」の負担感を下げて、理解にエネルギーを向ける



「よみ」のにがてなおこさんは、よみながらどうじにそのないようをりかいする、といったことはとてもむずかしいのです。

そういったおこさんにたいして、どういったてだすけをするのがいいのでしょうか。

がっこうのべんきょうをするなかでたいせつなことは「りかいできることをひろげ、おこさんのちしきをえられるようにする」ことです。

「よみ」がにがてなおこさんは、ほんからよんでちしきをえる、ということがむずかしくなります。

じぶんからほんやきょうかしょをよもうとはしなかったり、がんばってよんだとしてもないようをりかいすることができなかったりします。

つまりじょうほうへのあくせすにかべがある、ということです。がくしゅうでたいせつなことは、あたらしいちしきをえて、いろいろなみかたにきづいたり、そのことのかんがえをふかめることです。

おこさんがべんきょうにとりくめるえねるぎー、いわば、しゅうちゅうしてむかえるじかんはきまっています。そのつかえるえねるぎーのだいぶぶんを、たとえば、もじをおとにかえるさぎょうだけでつかっている、としたら、どうでしょうか。そのぶん、りかいにむけるえねるぎーはわずかなため、がんばってよんだけれども、けっか、よくわからなかった、、、というひろうかんだけがのこる、というけっかになりがちです。

そのため、「よみ」のにがてなおこさんにたいしては、「よむ」ふたんかんをさげて、できるだけ、りかいにえねるぎーをむけられるようにする、ということです。たとえば、おとながだいどくをしたり、よみあげだけではいめーじしにくいおこさんには、いらすとつきでせつめいをしたり、さらには、よみあげだけでなく、どうがでみる、ということも1つです。

にがてな「よむ」さぎょうがけいげんでき、そのふたんかんがさがれば、ないようをりかいすることにえねるぎーをむけやすくなるかもしれません。

「読み」の苦手さをサポート

大人が代読する

初めて読む文章は、事前に読み上げたものを聞くと、意味が理解しやすくなり、読みやすくなる。(音読の宿題は無理強いしない)

楽に読める・読みやすくなる工夫

漢字にふりがなを付ける

単語の区切りに線を引く

「いつもならさっそうとあるいている…」

「いつもなら／さっそうと／あるいている…」



よむことがにがてなおこさんにたいするさぼーとをせいりしていきましょう。まずはよむことをむりじいせず、おとなのほうでよんであげましょう。とくにはじめてのぶんしょうをよむことはかなりむずかしいばあいがあります。そういったときはまずはおとながよんであげて、どんなふうかをりかいしてもらい、よみのおてほんをしめしましょう。おんどくのしゅくだいについてはむりにさせないほうがいいばあいもあります。りょうをへらす、3ぷんだけよむなどのたいおうをたんになのせんせいとそうだんできるといいでしょう。

またおこさんがらくによめたり、よみやすくなるくふうもしましょう。かんじにはふりがなをかいてあげるのもいいでしょう。えんぴつでふりがなをかき、おこさんにじしんがついたらけすのもいいでしょう。がくねんがあがるときょうかしよのもじがちいさくなったり、くとうてんいがいのすきまがなかったりします。いっぱんてきに3ねんせいのきょうかしよからは「わかちがき」がなくなります。

「わかちがき」というのは、 たんごごと、じょしごとに、すこしすぺーすをおいて、いみをわかりやすくひょうきしてあるもので、きょうかしよじたいにすこしよみやすいくふうがされているのです。

ところが、3ねんせいになると、そのすこしのすぺーすがなくなるため、じ

ぶんで、いみのくぎりをみつけなくてはなりません。
それをじぶんでみつけるのがむずかしいおこさんもいます。
そういったばあいにはくとうてんいがいのごのくぎりなどにせんをいれてあ
げてるのもよみやすくなります。

「読み」の苦手さをサポート

ことばの意味を説明する

読めても、意味として理解できないことばは具体的に説明をする

(例:「心がはずむ」、「海が呼んでいる」)

イラストの併用

「行間」の部分を暗黙なく伝える

登場人物の心情を察したり、筆者の意図を推測することは
苦手なことも・・・

物語文では「」の会話は 誰のセリフなのかを
明示することも良いサポート。



またよみあげたものをきいても、いみとしてわからない、というばあいには、いちどによむりょうがながい、ちゅうしょうてきなことばがおおく、いみをつかみにくい、などのりゆうがあるとおもいます。

そんなときはよむりょうをへらし、おこさんがわかりにくいごいについて、ぐたいてきにせつめいをしてあげられるといいでしょう。

「ころがはずむ」といったひゆひょうげんや、「うみがよんでいる」といったぎじんかでのひょうげん、「めだまがとびでる」といったかんようくなど、ていねいにいみをつたえるとよいかとおもいます。

ことばのせつめいではいめーじできないときにはいらすとなどもつかっていきけるといいとおもいます。

ものごぶんでは、とうじょうじんぶつのしんじょうや、かんけいせいなどがわかりにくく、はなしがつかみにくいこともあります。

ぶんしょうにかいていないぎょうかんからとうじょうじんぶつのしんじょうをさったり、ひっしゃのいとをすいそくしたりすることはよりむずかしくなっています。

そのばあいは、どういったとうじょうじんぶつがでてくるのか、おたがいにどういうかんけいなのか、そうかんずをつかってせつめいをしたり、だれのせりふなのかをめいじしてかいておくことも、りかいをたすけるさぽーとに

なるかとおもいます。

「書き」の苦手さを考える前に・・・

「書き」の苦手さの前提として・・・

授業内容の意味が理解できていないと書けない

→現在の単元で扱っているテーマや語句が理解できているかどうかを確認。具体的に説明する。

読めない文字は書けない

「書き」の苦手さには、「読み」の問題が隠れていることが多々ある。
→読めない文字（特に漢字）を書き写すことは学びになりにくいので、
読めているかどうか確認。漢字の読みが苦手な場合は、先生に板書
にもふりがなを振ってもらう。



かくことのながてさをかんがえるまえに、そのじゅぎょうのないようじたい
がりかいできているのかどうか、をしっておくひつようがあります。
じゅぎょうのなかで「きょう、べんきょうしたことでわかったこと」など、
かんそうをもとめられたばあい、じぶんのきもちをことばにする、というか
くまえのだんかいで、つまづいていることもあるかとおもいます。
さいしょにおはなししましたが、よみかきについては、ことばできかけたこ
とをりかいしたり、はなす、せつめいするちからがひつようなのですが、そ
こににがてさがあると、なにをかけばいいのかわからないので、かけない、
ということになります。

がっこうのべんきょうのなかではどのきょうかのなかでも「かく」ことがひ
つようになります。そのため「かくけない」ことをしんぱいされるかたがお
おいのですが、おこさんのようすをよくみると、「かけない」おこさん
のなかに、まず「よめていない」ばあいがよくあります。
なんとなくよめていることや、そのときはよめていても、がくしゅうとして
はていちゃくしないなど、よみのもんだいもかくれているおこさんはすくなく
ありません。
よめないばあいは、やはりかくこともむずかしくなります。
「かく」ことのむずかしさがしんぱいなときは、「よみ」のようすもかくに
んしましょう。

「書き」の苦手さをサポート

書く量を減らし、授業中は「聞く」ことに集中

板書はプリントやタブレットの撮影で対応

連絡帳はプリントでもらう

漢字を書く負担を減らす

マス目の大きいノートを使う

漢字学習の難易度を下げる、量を減らす

→まずは生活の中で、よく目にする単語、意味が
わかっている単語の漢字を読めることを目標に



かくことがにがてなおこさんのさぼーとについてもかんがえていきましょう。
かくことがにがてなおこさんに、みんなとおなじだけかかせることはかなり
おおきなふたんとなります。できればばんしょやれんらくちょうなどはぷり
んとにしていだけるようせんせいとそうだんしてみましよう。

ばんしょについてはたぶれっとでさつえいするのも1つのしゅだんです。
かくふたをへらし、じゅぎょうはせんせいはなしをきくことにしゅう
ちゅうできるといいでしょう。

おこさんによっては2つのことを、どうじにすることがにがてなばあいもあり
ます。そういったこにせんせいはなしをききながら、こくばんにかかれ
ていることをかきうつす、というかだいは、とてもむずかしいです。

きくこと、かくこと、どっちをとるか？といわれれば、これはきくことにな
るのかな、とおもいます。

というのも、がくしゅうでたいせつなことは、そのじゅぎょうのないようを
りかいすること、そして、そのきょうかのなかでつたえられたちしきをしゅう
とくすることです。

そのため、ばんしょをもとめることで、じゅぎょうのないようをりかいでき
なくなってしまうのであれば、ばんしょのふたをへらすことをかんがえま
ししょう。

ますめのおおきいの一とをつかうなども、おこさんのふたんかんをさげるし

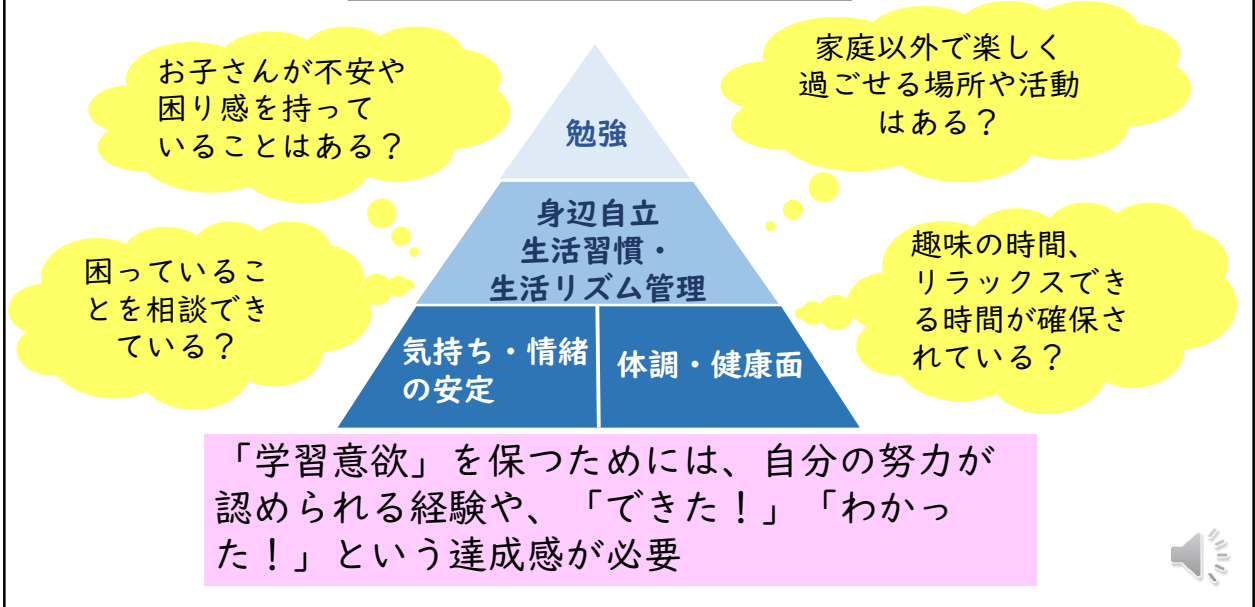
えんになるかとおもいます。

また、おこさんにとって、かんじどりのふたんかんがおおきいばあいは、しゅくだいしないようのみなおしがひつようかとおもいます。

がくねんそうとうのかんじのがくしゅうもたいせつですが、かんじのむずかしさがあるおこさんのばあい、せいかつのなかでよくみるかんじのがくしゅうからはじめられるほうがいいでしょう。

ふだんよくみるかんじがよめて、いみがわかることがたいせつです。

気持ちの安定が基盤



しょうがくせいのおこさんにとってべんきょうはたいせつなことです。そのべんきょうをするためのせいかつめん、きもちやたいちょうはよりじゅうようなきばんになります。

がっこうのべんきょうであたらしいことをまなぶ、とりくむというときに、いちばんだいじなのは、きもちがあんていしているか、それをまなぼうとするいよくがあるか、ということです。

そこが、ととのわないなかで、べんきょうをもとめても、とうぜんながら、うまくはいきません。むしろ、きもちがあんていしていないなかで、さらに、おこさんにふかをかけていくと、よけい、こじれてしまうことになります。そうすると、さらに、べんきょうにむかわなくなる、がくしゅうのいよくがていかする、というあくじゅんかんにおちいることもありえます。

おこさんじしんが「やってみよう」「がんばろう」といういよくをもつためには、おこさんのがんばりがほめられたり、みとめられたりしたけいけんをし、そこからたっせいかんをもつことがひつようになります。

お子さんの学びへの支援の考え方

一般的・「一律の」学習

みんなと同じ方法で
同じようにできるように
がんばれ!

がんばりすぎると...

疲労、ストレス
意欲・自己肯定感の低下の心配

予防
軽減

お子さんに合わせた学習を進めていくためには



連携



担任の先生
児童支援専任
スクールカウンセラー
校長・養護教諭
いろんな先生に相談を!

学校の「理解」と「協力」は不可欠

お子さんの「得意」を活かし、それぞれに合った・分かりやすい方法で
学習できた体験を積み重ねる



がっこうのべんきょうがうまくいかないと感じているおこさんにたいして、まわりのみんなといっしょのやりかたでがんばるのはむずかしいのかもしれない。

あわないやりかたでがんばりすぎてしまうと、ただただつかれてしまったり、がんばってもできないことでのすれすれをかんじてしまうかもしれません。それがつまかさなることでもっていたいよくもていかしたり、「どうせじぶんなんか・・・」とじここうていかんをもてなくなってしまうこともあります。

みんなとおなじやりかた、「いちりつの」がくしゅうではなく、おこさんそれぞれにあわせたがくしゅうをすすめていくためには、どうしてもがっこうのりかいときょうりよくがふかけつです。

がっこうにはたんにんのせんせいだけでなく、じどうせんになのせんせいやすくーるかうんせらーのせんせいなどいろんなせんせいがいらっしやいます。せんせいたちともそうだんをかさねながら、おこさんのとくいをいかし、おこさんにわかりやすいほうほうでがくしゅうをつみかさねていけるようにしていきましょう。

そういったおこさんじしんが「できた」とかんじられるけいけんをつみかさねていくことで、おこさんがいよくやじここうていかんをさげないようよぼうしていきましょう。

ご清聴ありがとうございました

